



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 愛眼株式会社

コード番号 9854 URL <http://www.aigan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下條 三千夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐々 昌俊

TEL 06-6772-3383

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 8,716 | 3.9 | 249 | — | 305 | — | 202 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 8,390 | △2.5 | △65 | — | △30 | — | △106 | — |

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 256百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △106百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 10.44 | — |
| 27年3月期第2四半期 | △5.49 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 17,866 | 14,693 | 82.2 |
| 27年3月期 | 17,429 | 14,436 | 82.8 |

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 14,693百万円 27年3月期 14,436百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|---|------|---|-----------------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 16,614 | 3.9 | 49 | — | 111 | — | 12 | — | 0.64 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期2Q | 21,076,154 株 | 27年3月期 | 21,076,154 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期2Q | 1,666,991 株 | 27年3月期 | 1,666,846 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期2Q | 19,409,251 株 | 27年3月期2Q | 19,409,614 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中国を始めとするアジア新興国などの経済の減速懸念や米国の金融政策の行方、それを契機とする不安定な株価動向に加え、円安を背景とした物価上昇などにより実質所得の改善にまで至らないことが影響し、消費者マインドの回復の遅れが懸念されており、実体経済は依然弱含みの状況にあります。眼鏡小売市場におきましては、お客様の根強い節約志向が続く中で、同業者間での販売競争・価格競争などによる厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、「NEW愛眼プロジェクト」で築き上げた営業基盤を有効に活用し、対処すべき課題と真摯に向き合うことで、顧客志向に立った商品開発とサービスのレベルアップ、営業体制の効率化に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、主に眼鏡小売事業の売上が増加に転じたことにより、売上高は8,716百万円（前年同四半期比3.9%増）、売上総利益率は0.7%増となりました。営業経費は、人件費やシステム関連経費などが増えたものの、広告宣伝費や改装関係などの経費支出を抑えることによって、営業利益は249百万円（前年同四半期は営業損失65百万円）、経常利益は305百万円（前年同四半期は経常損失30百万円）となりました。また、特別損失として減損損失28百万円を計上したため、税金等調整前四半期純利益は281百万円（前年同四半期は税金等調整前四半期純損失56百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は202百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失106百万円）となりました。今後ともお客様の支持が得られる店づくりの推進と一層のコスト削減に取り組むことで、早期に黒字転換を実現し、持続的成長への道筋が見えるように、収益基盤の強化に努めてまいります。

当社グループにおける報告セグメントごとの状況は次のとおりです。

[眼鏡小売事業]

当社グループの中核である国内眼鏡小売事業においては、2012年から「NEW愛眼プロジェクト」をスタートさせ、お客様の嗜好やライフスタイルを踏まえた「アイスタイリング・サービス」を掲げ、事業戦略を進めており、新ビジュアルアイデンティティによる統一性のあるブランド訴求、メガネ一式価格「スマートプライス」による明瞭な価格表示、お客様のニーズを取り込んだオリジナルブランド品の提供、様々なマス媒体やTポイントを活用した広告宣伝などさまざまな営業施策に取り組んでまいりました。プロジェクトの完遂には未だ道半ばですが、今年度は、着実に改善してきている商品、サービス、店舗、人材を始めとする営業基盤を梃子に、「NEW愛眼プロジェクト」によって増加したニューファミリー層やヤング層に対する取り組みを継続しつつ、従来から固定客の中心を占めるミドル、シニア層に照準を合わせた商品力、技術力、接客力によるお客様へのアプローチを併行して推進しております。

売上高に関しては、幅広い年齢層のお客様のニーズを取り込んだ新商品の開発・投入並びに材質・機能面で付加価値を高めた商品の品揃えの拡充により、販売単価が改善し、売上高は順調に増加しました。また、当社の強みであるカウンセリング力が活かせ、シニア層の眼鏡販売との相乗効果が期待できる補聴器の売上高は好調に推移いたしました。一方、売上総利益率は、オリジナル品の商品構成の引き上げや高付加価値商品の品揃えの強化などを進め、若干ながら改善しました。

店舗に関しては、国内で1店舗を開設、4店舗を閉鎖し、2店舗で改装を実施しました。また、店舗と本部の業務プロセスの効率化・省力化を狙いとするPOS導入プロジェクトが進行中であり、来春に本稼動を予定しております。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は8,291百万円（前年同四半期比4.1%増）、セグメント利益は283百万円（前年同四半期はセグメント損失13百万円）となりました。

[写真館事業]

当社直営の「愛写館」3店舗による写真館事業は、幅広い年代、階層のお客様の記念写真・家族写真の撮影やアルバム制作をはじめ、美容着付け、衣装レンタルなどにも対応する総合写真館をコンセプトにしており、子供写真はもとより、成人式振袖記念写真などの大人の撮影メニューも豊富に揃えております。当第2四半期連結累計期間においては、近鉄あべのハルカス店を増床改装したほか、七五三、成人式、卒業式など記念イベントが多い下期に向けての集客活動に注力いたしました。

この結果、写真館事業における売上高は、店舗数が前年同期より2店舗減少したことも影響し、53百万円（前年同四半期比1.5%減）、セグメント損失は19百万円（前年同四半期はセグメント損失43百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は17,866百万円、負債合計は3,173百万円、純資産合計は14,693百万円となりました。前連結会計年度末に比べ負債合計が180百万円増加し、純資産合計が256百万円増加した結果、自己資本比率は82.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当社グループの資金状況は、下記のとおりです。

現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、2,387百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動におけるキャッシュ・フローは609百万円（前年同四半期は599百万円）となりました。

この現況に至った主な要因は、税金等調整前四半期純利益281百万円、賞与引当金の増減額120百万円及びたな卸資産の増減額198百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動におけるキャッシュ・フローは△50百万円（前年同四半期は78百万円）となりました。

この現況に至った主な要因は、有形固定資産の取得による支出△100百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは△74百万円（前年同四半期は△34百万円）となりました。

この現況に至った主な要因は、リース債務の返済による支出△44百万円及び長期借入金の返済による支出△30百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,702 | 5,181 |
| 受取手形及び売掛金 | 753 | 724 |
| 商品及び製品 | 2,355 | 2,149 |
| 原材料及び貯蔵品 | 29 | 38 |
| その他 | 130 | 185 |
| 貸倒引当金 | △7 | △7 |
| 流動資産合計 | 7,964 | 8,272 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,162 | 1,109 |
| 土地 | 1,900 | 1,900 |
| リース資産(純額) | 68 | 81 |
| その他(純額) | 23 | 49 |
| 有形固定資産合計 | 3,155 | 3,141 |
| 無形固定資産 | | |
| リース資産 | — | 145 |
| 無形固定資産合計 | — | 145 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 3,883 | 3,844 |
| 投資有価証券 | 1,686 | 1,768 |
| その他 | 739 | 695 |
| 投資その他の資産合計 | 6,309 | 6,307 |
| 固定資産合計 | 9,464 | 9,594 |
| 資産合計 | 17,429 | 17,866 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 540 | 547 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 60 | 60 |
| 未払法人税等 | 118 | 124 |
| 賞与引当金 | — | 120 |
| その他 | 1,083 | 1,036 |
| 流動負債合計 | 1,802 | 1,888 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 285 | 255 |
| 繰延税金負債 | 69 | 94 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 6 | 6 |
| 資産除去債務 | 350 | 350 |
| リース債務 | 298 | 401 |
| その他 | 179 | 175 |
| 固定負債合計 | 1,190 | 1,284 |
| 負債合計 | 2,993 | 3,173 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,478 | 5,478 |
| 資本剰余金 | 6,962 | 6,962 |
| 利益剰余金 | 5,312 | 5,515 |
| 自己株式 | △1,050 | △1,050 |
| 株主資本合計 | 16,702 | 16,904 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 160 | 212 |
| 土地再評価差額金 | △2,471 | △2,471 |
| 為替換算調整勘定 | 45 | 47 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,265 | △2,211 |
| 純資産合計 | 14,436 | 14,693 |
| 負債純資産合計 | 17,429 | 17,866 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 8,390 | 8,716 |
| 売上原価 | 2,672 | 2,712 |
| 売上総利益 | 5,718 | 6,004 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,783 | 5,754 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △65 | 249 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 10 |
| 受取配当金 | 6 | 7 |
| 受取家賃 | 25 | 32 |
| その他 | 26 | 31 |
| 営業外収益合計 | 68 | 83 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2 | 2 |
| 固定資産除却損 | 4 | 0 |
| 賃貸費用 | 23 | 19 |
| その他 | 3 | 4 |
| 営業外費用合計 | 33 | 27 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △30 | 305 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 0 | 4 |
| 特別利益合計 | 0 | 4 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 26 | 28 |
| 特別損失合計 | 26 | 28 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △56 | 281 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 50 | 79 |
| 法人税等調整額 | △0 | △0 |
| 法人税等合計 | 50 | 78 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △106 | 202 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △106 | 202 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日） |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | △106 | 202 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7 | 51 |
| 為替換算調整勘定 | △7 | 2 |
| その他の包括利益合計 | 0 | 54 |
| 四半期包括利益 | △106 | 256 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △106 | 256 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △56 | 281 |
| 減価償却費 | 118 | 71 |
| 減損損失 | 26 | 28 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 44 | 120 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 466 | 28 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 324 | 198 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △137 | 5 |
| その他 | △103 | △47 |
| 小計 | 682 | 686 |
| 利息及び配当金の受取額 | 17 | 18 |
| 利息の支払額 | △2 | △2 |
| 法人税等の支払額 | △101 | △100 |
| 法人税等の還付額 | 3 | 6 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 599 | 609 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △223 | △0 |
| 定期預金の払戻による収入 | 316 | 7 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △49 | △100 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △108 | △15 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 3 | 16 |
| その他 | 137 | 43 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 78 | △50 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △30 | △30 |
| リース債務の返済による支出 | △4 | △44 |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △0 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △34 | △74 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1 | 0 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 641 | 484 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,647 | 1,902 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,289 | 2,387 |

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|-----|-------|--------------|-------|--------------|--------------------------------|
| | 眼鏡小売 | 写真館 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,961 | 53 | 8,015 | 375 | 8,390 | — | 8,390 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 39 | 39 | △39 | — |
| 計 | 7,961 | 53 | 8,015 | 414 | 8,429 | △39 | 8,390 |
| セグメント損失（△） | △13 | △43 | △57 | △0 | △58 | △7 | △65 |

（注）1 その他の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、卸売事業等であります。

2 セグメント損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用△13百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出
会社の費用です。

3 セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：百万円）

| | 眼鏡小売 | 写真館 | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|------|-----|-----|-------|----|
| 減損損失 | 26 | — | — | — | 26 |

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|-----|-------|--------------|-------|--------------|--------------------------------|
| | 眼鏡小売 | 写真館 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,291 | 53 | 8,344 | 371 | 8,716 | — | 8,716 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 42 | 42 | △42 | — |
| 計 | 8,291 | 53 | 8,344 | 414 | 8,758 | △42 | 8,716 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 283 | △19 | 263 | △4 | 259 | △9 | 249 |

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、卸売事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△16百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

（単位：百万円）

| | 眼鏡小売 | 写真館 | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|------|-----|-----|-------|----|
| 減損損失 | 28 | — | — | — | 28 |